※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	Advanced English a	2	2	令和５年度版全商英語検定試験問題集２級（高校英語研究会・啓林館編集部） transfer 英語総合問題演習コース A [4th Edition]（桐原書店編集部）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「Advanced English a」は、一年次で身につけた英語運用能力を伸ばし、特にリーディング・リスニングのスキルを高めることを目標に設定しています。また、運用能力を活用して、目的や場面、状況に応じて主体的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養います。
・商業英検２級や実用英語技能検定準２級などの、資格試験にも積極的に挑戦してください。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくり、はっきりと話された天候、時間など、日常的な必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくり、はっきりと話されていれば、駅や空港などの短いアナウンスについて自分に必要な情報を聴き取ることができる。	・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りすることができる。 ・日常的な事柄や自分のこと、身の回りのことについて、簡単なやりとりをすることができる。 ・身近なトピックについて、Why～？やHow about you?などの簡単な語や表現を用いて意見交換をすることができる。	・前もって準備したうえで、日常的な事柄について基本的な語や表現をつかって、複数の文で描写することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、簡単な説明をすることができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（学校生活など）について複数の文を書くことができる。

※令和４年度以降入学生用

３　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身につけている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	transfer 4-6 令和５年度版全商英語検定試験問題集２級	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 問題集を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとたり、発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 完了、助動詞、受動態を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	中間考査			
	transfer 7-9 令和５年度版全商英語検定試験問題集２級	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 問題集を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる b: 本文から整理・理解した内容を活用して活動に取り組むことができる。 c: 題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で説明しようとしている。	-授業での取り組み -パフォーマンステスト
		書くこと	a: 不定詞、動名詞、分詞を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

2	transfer 1-3 transfer 10-11 令和５年度 版全商英語 検定試験問 題集２級	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 問題集を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとたり、発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 動詞の時制、文の種類、関係詞を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	中間考査			
	transfer 12-13 令和５年度 版全商英語 検定試験問 題集２級	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 問題集を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる b: 本文から整理・理解した内容を活用して活動に取り組むことができる。 c: 題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で説明しようとしている。	-授業での取り組み -パフォーマンステスト
		書くこと	a: 比較、文型を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	期末考査			
3	transfer 14-15 令和５年度 版全商英語 検定試験問 題集２級	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 問題集を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとたり、発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 間接疑問、接続詞を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度